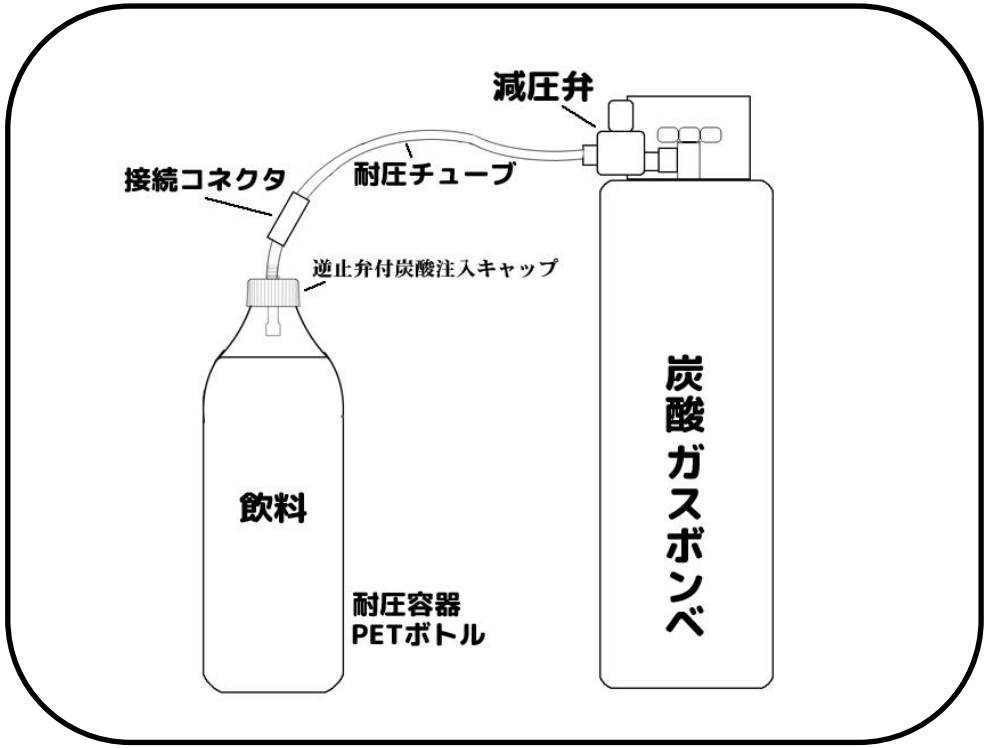
誰でも炭酸水Beeタン

取り扱い説明書



各部の名称　・・・P 2
ご使用上の注意　・・・P 3～P 4
強炭酸水の作り方　・・・P 5～P 7

各部の名称

※一度閉めると開ける時にスクリュー部分が
切り離されます。

※容器に残ったスクリュー部分はニッパや
ハサミ等で切り取って除去してください。

※検品のためスクリュー部分が切り取られた
状態で発送する場合があります。
予めご了承ください。

逆止弁付炭酸注入キャップ

ビールサーバー等にも使用
されるもので、業務用のガス
ボンベにも十分に耐えうる
チューブを使用しています。

また、外径も8mmを採用して
いますので、強炭酸を製造
するには最も適した太さで、
炭酸ミストやビールサーバー
など多目的に使用できます。

耐圧チューブ 8mm外径

逆止弁付炭酸注入キャップのヘッド部分
にあるチューブ(外径6mm)に接続するため
のコネクタです。
一度差し込むと水もガスも逃さない設計
になっています。

取り外す時はもう一度深く差し込んで
接続口を引き上げながら外すと簡単に
取り外せます。

接続コネクタ 8mm−6mm

(減圧弁セットに同梱されます)

炭酸ガスボンベの圧力を調整
するために使用します。
炭酸水製造やビールサーバー
等に使用することができます。

残量表示機能がついているので
便利です。

減圧弁(レギュレーター)

※メーカー取扱説明書を参照ください。

ご使用上の注意

コネクタと接続

注入キャップ先端にはチューブがついていますので、ここに接続コネクタを強くぐっと差し込んで下さい。

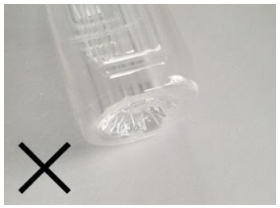
※このチューブは外さないでください。
これを外すとガスが抜けてしまいます。

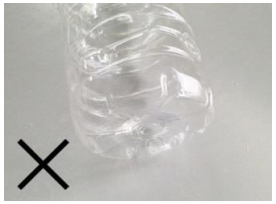
取り外す際は、コネクタを一度押し込んで口部分を引き上げ取り外します。

ぐっと深く差し込みます。
ガス注入時にはガスや液体は逆流することはありません。しかし強炭酸をつくる場合やアルコール類に注入する際は圧力が強くなり取り外し後に微量の吹き出しがあります。（あぶくが出る程度）異常ではありませんのでこれを防ぐために素早くフタをします。

注入後はキャップを閉める

耐圧容器以外の容器やガラス瓶には絶対に使用しないでください。
爆破や破裂の恐れがあります。





← 耐圧容器は主に炭酸飲料に使用されるもので、
底部に5箇所の凸部のあるものを使用します。

耐圧容器だけを使用する

容器の口にご注意ください。

新品以外の容器を使用する場合は
他のキャップのスクリュー部分が残っ
ていないか確認してください。
写真は他のキャップのスクリュー部分
が残っている状態です。この状態で
キャップをするとガスや液漏れを起こし
ます。必ずハサミやニッパなどで
切り取ってご使用ください。

開封時の持ち手の向きにご注意ください。

キャップ部分が自分の顔に向かないようにして開けてください。

○

×

定期的な洗浄を行ってください。

本製品に使用されている部品はステンレス
及び樹脂等を使用しております。
どちらも耐久性は優れますが、長期間使用
しますとサビやカビが出る場合があります。

定期的にラジオペンチ等で取り外し
洗浄を行って下さい。

減圧弁継手の接続について

継手は接続に応じた力（トルク）でねじ込みを行ってください。
漏れ防止のため漏れ防止対策は必ず行ってください。
また接続後は石鹸水等で漏れの確認を行ってください。

●取り扱い説明書にある規定圧力を遵守してご使用ください。（圧力を上げたからといって強炭酸がつくれるわけではありません。）
●使用時はゴーグルを着用し注入キャップを絶対に顔に向けないでください。
●冷蔵庫で保管される場合はキャップ部分が顔に向かないように、立てた状態で保管してください。
●小さなお子様の手の届くところに置かないようご注意ください。
●本製品の使用によるいかなる傷害や損害賠償等が発生しても一切の責任は負いません。全て個人の責任において作業してください。

強炭酸水の作り方（通常は③④⑤⑥は省いてください）

準備 **炭酸水用のペットボトルに水を7割程度入れて冷蔵庫でよく冷やしておきます。シェイクしますので満水にはしません。**

必ず炭酸水用の容器を使用すること。
お茶やガラス瓶などの容器は破裂する可能性があるので使用禁止！

① ペットボトルへ取付

Beeタンをを良く冷えたペットボトルに取り付けます。しっかりとフタを閉めて下さい。

強炭酸の作り方ポイント

この時に容器を凹ませて中の空気を完全に出しておくとさらに強炭酸になります。

② ガスの元栓を開ける

炭酸ガスの元栓を全開する。
反時計回りに回す。

③ 減圧弁メモリを0.5にする

メモリを0.5に合わせます。ペットボトルに炭酸ガスが注入されていきます。

④ 100回振り　1回目

炭酸ガスを注入しながら容器を100回振り、水と炭酸ガスを溶けこませます。

⑤ 減圧弁メモリを1.0にする

メモリを1.0に合わせます。ペットボトルに
炭酸ガスが注入されていきます。

⑥ 100回振り　2回目

炭酸ガスを注入しながら容器を100回
振り、水と炭酸ガスを溶けこませます。

⑦ 減圧弁メモリを1.5にする

メモリを1.5に合わせます。ペットボトルに
炭酸ガスが注入されていきます。

⑧ 100回振り　3回目

炭酸ガスを注入しながら容器を100回
振り、ガスの泡がでなくなったら終了です。

⑨ レギュレーターを閉める

メモリを0に戻して閉めます。
機種により回す方向に注意します。

⑩ ガスの元栓を閉める

炭酸ガスの元栓を閉める。
時計回りに回す。

⑪ 接続コネクタの取り外し

接続コネクタを取り外します。
一度押し下げて継手部分を
持ち上げるようにすると
簡単に外せます。

炭酸ガスが入りすぎると
微量に漏れる場合がありますが異常ではありません。

⑫ キャップをハメる

長時間保存用のキャップをします。
深く差し込んで完全に密封します。
引っ張っても抜けないくらいに
ぐっと差し込んでください。

その後冷蔵庫で半日ほど寝かせます。そのままでも炭酸水として飲めますが冷蔵庫の中で寝かせることで炭酸水が安定しておいしくなります。